



発行所：メディカルサテライト八重洲クリニック

東京都中央区八重洲 1-5-9 八重洲アムレックスビル9F



0120-786-055

TEL03-3516-8020 FAX03-3516-8022

## 「脳梗塞の分類」

長嶋茂雄氏が脳梗塞で入院されたことは、まだ記憶に新しいことと思います。今回は脳梗塞の分類とMRIの診断目的について簡単にまとめてみました。

日本人の脳卒中（脳梗塞、脳出血、くも膜下出血）のうち、約70%は脳梗塞と言われています。脳梗塞の臨床病型はNINDS(National Institute of Neurological Disorder and Stroke)により、次の3種類に分類されます。

### アテローム血栓性脳梗塞

脳動脈主幹部から半球枝のアテローム硬化（粥状（じゆくじょう）硬化）に起因する脳梗塞で、発生様式は緩徐進行性であり、一過性脳虚血発作(TIA)が前駆することがあると言われています。

### 心源性塞栓症

心房細動、弁膜症、心内膜炎によって生じた心腔内血栓が塞栓子になり主幹部、半球枝が閉塞するもので、突発的に発症し、意識障害や失語など重篤な神経症状をきたします。

### ラクナ梗塞（穿通枝梗塞）

脳実質深部への終末動脈である穿通枝の閉塞による小梗塞であり、脳梗塞の中で最も頻度が高い梗塞ですが、MRIでラクナ梗塞を認めても、神経学的には無症状な例も少なくありません。

日本人に生じる脳梗塞はアテローム血栓性脳梗塞が10～20%、心源性塞栓性梗塞が20～30%、ラクナ梗塞が40～50%といわれています。

脳梗塞におけるMRIの診断目的は、閉塞動脈とその原因、梗塞組織の範囲と病期、合併症の程度、2次性変化の評価が挙げられます。また、超急性期、急性期梗塞の検出には拡散強調画像（Diffusion）による検査が大変有効です。

陳旧性梗塞はT2強調画像で高信号（白い）を示します（図1 - 赤矢印）。しかし、超急性期梗塞ではDiffusion（図2 - 白矢印）による検出能が優れており、Diffusionでは陳旧性梗塞は低信号（黒い）として描出されます（図2 - 赤矢印）。



図1



図2

<秀潤社 よくわかる脳MRI 編著：青木茂樹より一部引用>  
(診療放射線技師 奥秋知幸)

## 「第3回講演会」の開催日程のご案内

恒例となっております、メディカルサテライト八重洲クリニックの読影医を講師とした、第三回講演会の日程が決まりましたので、ご案内させていただきます。今回は、東京警察病院放射線科部長の河内 伸夫先生を再びお迎えし、『脳卒中～症状と画像診断との対比～』をテーマに講演していただきます。

今般、マスコミなどで脳卒中が頻繁に取り上げられ、患者様の関心も高まっているなか、4月からの診療報酬額改定により、頭部MRI（MRA）検査の患者様負担額も軽減されますので、画像診断を活用される機会も増えてくるかと存じます。

この講演会にご参加いただいて、MRI・CTの画像診断をより一層先生の診療に役立てていただければ幸いです。スタッフ一同心からご参加をお待ちしておりますので、是非お申し込みください。

(別紙「講演会のご案内」をご参照ください)

日時：5月9日(日) 14:00～16:00

場所：東京八重洲ホール 9階 901号室

講師：河内 伸夫先生（東京警察病院放射線科部長）

テーマ：「脳卒中」～症状と画像診断との対比～

(医療連携課 松野京子)

<診療時間：月曜～金曜日：午前9時～午後9時 土日祝日：午前10時～午後5時、造影日：月曜～土曜日>

## 「画像診断 子宮腺筋症 adenomyosis」

子宮腺筋症とは、子宮筋層内に異所性に子宮内膜組織が存在する疾患です。卵巣などの子宮以外の場所に子宮内膜組織が存在する場合は、子宮内膜症と言います。通常は瀰漫性に筋層内にひろがりますが、時に腫瘤状を呈し腺筋腫 adenomyoma とも呼ばれます。肉眼的には子宮は腫大し、筋層が肥厚します。病変の境界は不明瞭です。組織学的には子宮内膜腺および間質、あるいはいずれか一方が子宮筋層内に島状に散在します。その内膜組織は一般に増殖期様を示します。

画像検査としては子宮筋腫と同様に第一に超音波検査で、次にMRIです。MRIのT1強調画像(図1)では周囲の子宮や骨格筋と同程度の信号強度を示します。病変の異所性内膜からの出血により、点状の高信号域が認められることがあります( )。T2強調画像(図2)では子宮筋層内側層 junctional zone と同程度の低信号を示し( )、異所性内膜による高信号域が散在します。筋腫とでは、腫瘤状か否かや、点状の高信号の有無より鑑別は一般に容易ですが、前述したように時に腺筋症も腫瘤状を呈し、鑑別に苦慮する場合があります。子宮腺筋症は子宮内膜症を合併することが多く、本例もダグラス窩もしくは付属器に出血性である内膜嚢胞がみられます(図1、2: )。

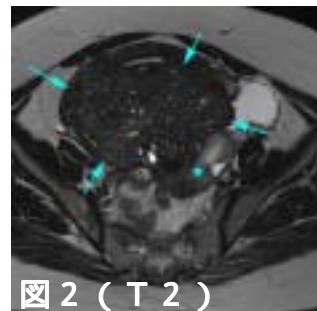
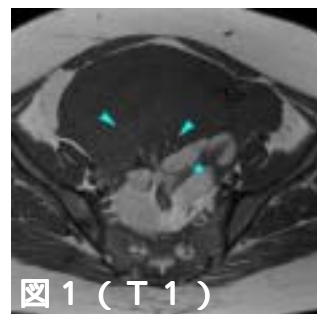
子宮腺筋症の診断も造影MRIは特に必要ありません。子宮内膜症の有無をみるのには脂肪抑制T1強調画像が有用です。

子宮腺筋症と名称が似た疾患に、胆嚢腺筋腫症 adenomyomatosis があります。胆嚢粘膜の壁内突出である Rokitsansky-Aschoff sinus の集簇と拡張、周囲の平滑筋細胞の増生をさすものです。

図1 : 骨盤T1強調MRI (T1 Axial)

図2 : 骨盤T2強調MRI (T2 Axial)

(放射線科専門医 松岡勇二郎)



## 「フィードバックについてのお願い」

いつも当院をご利用いただき、誠にありがとうございます。

当院では現在、先生方の「検査室」として先生方との情報交換が重要であると感じ、以下のような情報提供を行っております。

講演会の開催・・・画像診断の有用性・適応性などの情報のご提供  
 定期フォロー表・・・ご依頼いただいた検査のまとめ  
 八重洲ニュースの発行・・・症例研究、検査情報、当院サービスのお知らせなど  
 患者様からのお問合せのフィードバック・・・患者様から検査希望のお問合せがあった場合に、ご依頼元の先生にその旨を書面にて報告しております。

今後、先生方に以下のような情報を、お伺いしてお聞きし、更なる情報提供ができればと存じております。何卒、ご高配を賜れば幸いです。

(症例によって)患者様のその後のご経過や最終診断結果など。  
 先生方のご専門分野・・・当院に対して、(ホームページなどをご覧になられて)一般の方から検査についてお問合せがあった場合に、ご心配されている病気に応じて先生方をご紹介させていただければと考えております。予め、ご専門分野をお教えいただければ幸いです。  
 ご診療においてお困りの点、当院へのご要望など。

お忙しい中とは存じますが、ご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

(院長 茅野文利)

## 「ゴールデンウィーク中の休診について」

ゴールデンウィーク期間中にMRI・CT装置の保守点検を実施いたしますので、下記のスケジュールにて対応させていただきます。大変ご不便をお掛けいたしますことを深くお詫び申し上げます。

**休診日 : 5月2日(日)、3日(月)、4日(火)、5日(水)の4日間**  
**時間延長 : 5月 8日(土) 10時～17時 (延長後) 9時～19時**  
**: 5月15日(土) 10時～17時 (延長後) 9時～19時**

< 診療時間 : 月曜～金曜日 : 午前9時～午後9時 土日祝日 : 午前10時～午後5時、造影日 : 月曜～土曜日 >